

令和6年度予算要望書

「燃油・物価高騰への要望」含む

令和5年11月27日

苫小牧市長 岩倉 博文 殿

公明党議員団 神山哲太郎

大西 厚子

大野 正和

池田 謙次

藤田 広美

令和6年度予算要望（40項目）

（燃油・物価高騰への要望を含む）

- 1, 燃油・物価高騰に対する要望（7項目）
- 2, ゼロカーボンシティと行政改革の推進（7項目）
- 3, 健やかに暮らすまち健康都市を目指して（7項目）
- 4, 未来を築く子ども支援・若者支援の推進（6項目）
- 5, 子どもの未来を育む教育と文化の推進を（7項目）
- 6, 防災対策と住みよい環境のまちづくり（6項目）

1, 燃油・物価高騰に対する緊急要望（7項目）

- 一、 燃油・物価高騰対策として全世帯に生活応援金として1～2万円の支給を実施すること
- 一、 物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対して学校給食費や保育園等の副食費の無料化を実施すること
- 一、 幼稚園や保育所等で物価高騰による負担軽減策を実施すること
- 一、 肥料・資材高騰などの影響を受けている農・魚業者への支援策を実施すること
- 一、 仕入れ価格高騰による利益減少を考慮して事業継続支援を引き続き実施すること
- 一、 燃油高騰など影響を受けている公衆浴場の負担軽減と事業継続支援を実施すること（燃料の種類に関わらず支援）
- 一、 物価高騰による影響を受けている高齢者施設等の負担軽減策を実施すること

2, ゼロカーボンシティと行政改革の推進 (7項目)

- 一、省エネ家電の普及促進に購入費の補助を実施すること
- 一、太陽光発電設置に対する補助金の拡大を実施すること
- 一、市民ホールなど新たな公共施設には太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を推進すること
- 一、洋上風力発電などの誘致に積極的に取り組むこと
- 一、排水道施設等への小水力発電の導入を推進すること
- 一、苫小牧の海岸や港湾に藻場を造成するなどブルーカーボンの取り組みを推進すること
- 一、ネーミングライツや広告等の活用で、税外収入の拡大を推進すること

3, 健やかに暮らすまち健康都市を目指して（7項目）

- 一、地域医療介護情報ネットワークシステムの導入を推進すること
- 一、帯状疱疹ワクチン接種の公費助成を実施すること
- 一、特定健診にエクオール検査、骨密度検査を追加すること
- 一、母子健康手帳のデジタル化を早期に実施すること
- 一、市役所等の公共施設の男性トイレにサニタリーボックスを設置すること
- 一、訪問理美容制度の対象拡大と実施事業所への運営支援を実施すること
- 一、「ふくしタクシー」利用者の負担軽減を図ること

4. 未来を築く子ども支援・若者支援の推進（6項目）

- 一、子育て支援として妊娠当初から相談に乗る伴走型支援の充実を図ること
- 一、子育て支援で育児用品などのクーポンやポイント支給の実施と一時預かりや家事支援サービスの費用負担軽減を図ること
- 一、多胎育児支援で利用可能な年齢を3歳までに拡大すること
- 一、発達障がいの早期発見・早期療育に5歳児健診を実施すること
- 一、小学校の給食費は第2子までの無料化を目指すこと
- 一、若者支援として結婚支援事業を推進すること

（注）「子育て支援」とは、子育て支援法第2条第1項に規定する子育て支援を指す。

5、子どもの未来を育む教育と文化の推進を（7項目）

- 一、障がい児等が地域の学校で学ぶため学校施設のバリアフリー化を推進すること
- 一、学校図書館司書の中学校への配置と民間委託を推進すること
- 一、学校図書購入費の増額を推進すること
- 一、不登校対策として校内フリースクールの実施拡大を目指すこと
- 一、支援が必要な不登校児童・生徒の指導充実のため支援員を増員すること
- 一、特別支援学校高等部の設置を北海道への要望で実現を目指すこと
- 一、静川遺跡を遺跡公園としてトイレ・手洗い等の整備を推進すること

6. 防災対策と住みよい環境のまちづくり（6項目）

- 一、漁港区周辺に津波被害を想定した津波避難タワー等を設置すること
- 一、勇払や西側の海岸沿いに築山などの避難施設の設置をすること
- 一、津波避難施設の拡大として歩道橋など新たな避難施設の設置を目指すこと
- 一、あらゆる災害に適応したタイムラインの作成と市民周知を行うこと
- 一、市民の健康維持とスポーツ振興を目指したスポーツ施設の適正化を推進すること
- 一、各種公園の整備とともに公園の適正化を推進すること